

各 位

上場会社名 代表者 (コード番号 問合せ先責任者 (TEL	常磐開発株式会社 代表取締役社長 佐川 藤介 1782) 常務取締役管理本部長 榊原 清隆 0246-72-1111)
---	---

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,000	百万円 △340	百万円 △355	百万円 △360	円 銭 △45.87
今回発表予想(B)	3,600	△334	△351	△352	△45.87
増減額(B-A)	△1,400	6	4	8	
増減率(%)	△28.0	1.8	1.1	2.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,065	△361	△375	△383	△48.86

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,000	百万円 130	百万円 80	百万円 50	円 銭 6.37
今回発表予想(B)	12,000	100	60	40	5.10
増減額(B-A)	△1,000	△30	△20	△10	
増減率(%)	△7.7	△23.1	25.0	△20.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	12,058	97	62	22	2.82

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,300	百万円 △225	百万円 △235	百万円 △240	円 銭 △30.58
今回発表予想(B)	2,200	△162	△160	△157	△20.00
増減額(B-A)	△1,100	63	75	83	
増減率(%)	△33.3	28.0	31.9	34.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,709	△229	△228	△234	△29.93

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,500	百万円 80	百万円 40	百万円 30	円 銭 3.82
今回発表予想(B)	7,700	60	30	20	2.55
増減額(B-A)	△800	△20	△10	△10	
増減率(%)	△9.4	△25.0	△25.0	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,736	70	41	14	1.88

修正の理由

1. 平成23年3月期 第2四半期累計期間業績予想の修正理由

(1)個別

(売上高)

建築事業において、民間建設投資の縮小と競争激化の中、当第2四半期の売上計上を予定しておりました物件の失注に

より、700百万円減少、工事の進捗の遅れにより、600百万円減少する見込みであります。また、土木緑地事業において、追加工事及び設計変更により200百万円増加する見込みであります。
その結果、売上高につきましては、1,100百万円の減少となる見込みであります。

(利益)

利益につきましては、売上高の減少により、30百万円(失注工事による影響額10百万円、進捗の遅れによる影響額20百万円)の減少となる見込みであります。しかし、土木緑地事業の売上高の増加、及び現場経費の見直しにより43百万円、退職金制度の変更に伴う人件費の減少、及び経費の見直しと圧縮に努めた結果50百万円の増加となる見込みであります。
その結果、営業損失162百万円(前回発表予想比28.0%増)、経常損失160百万円(同 31.9%増)、四半期純損失157百万円(同 34.6%増)となる見込みであります。

(2)連結

(売上高)

個別の売上の修正理由による減少要因に加え、子会社においても、建築事業において工事の進捗の遅れにより、300百万円減少となる見込みであります。

その結果、売上高につきましては、1,400百万円減少の3,600百万円(前回発表予想比28.0%減)となる見込みであります。

(利益)

個別の修正理由による増加要因がありますが、子会社の売上高の減少により、営業損失334百万円(前回発表予想比1.8%増)、経常損失351百万円(同 1.1%増)、四半期純損失352百万円(同 2.2%増)となる見込みであります。

2. 平成23年3月期 通期業績予想の修正理由

(1)個別

(売上高)

通期の売上高につきましては、第2四半期累計期間の修正理由のとおり、失注による減少、進捗の遅れによる減少の影響によるものであります。

その結果、売上高は7,700百万円(前回発表予想比9.4%減)となる見込みであります。

(利益)

利益につきましては、売上高の減少、主に大型工事の進捗の遅れによる影響が見込まれるため、営業利益60百万円(前回発表予想比25.0%減)、経常利益30百万円(同 25.0%減)、当期純利益20百万円(同 33.3%減)となる見込みであります。

(2)連結

(売上高)

通期の売上高につきましては、個別の理由によるものであります。

その結果、売上高は12,000百万円(前回発表予想比7.7%減)となる見込みであります。

(利益)

利益につきましては、個別の理由によるものであります。

その結果、営業利益100百万円(前回発表予想比23.1%減)、経常利益60百万円(同 25.0%減)、当期純利益40百万円(同 20.0%減)となる見込みであります。

(注)今回の業績予想については、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上